

## 第3回（第4回）学習環境規模適正化地域会議 意見交換概要

【西脇中学校区】令和3年10月29日（金） 場所 センティア西脇

No	質問・意見
01	概ね4km以上は通学バスという基準。基準より距離が短い場合でも通学バスの利用は可能か。基準より短い距離でも通学バスが利用できるようなオプション（費用負担があれば）等は検討されますか。（学校が遠くなると登下校が不安）
02	同じ町内でも、乗れる子・乗れない子が出てくるのが予想される。考慮いただきたい。
03	学校施設の長寿命化計画を知った。財政的な問題も関係するのであれば、適正な学校規模とともに、財政面を踏まえて議論することを先に周知すべきだと思う。財政的な問題と両輪で考えていかなければいけなかったという印象を受けた。
04	西中校区にある2つの小学校を統合し1つにするという案が示されている。決して市の案に反対というわけではなく、皆さんの納得が必要。先に市の具体的な考えを聞きたい。
05	先に市の決定ありきという意見に間違いがある。検討会議（親会議）である程度方針を決め、その方針を答申という形で市に返して、最終的に市長部局や議会の承認を経て決定するという流れ。市民からの意見の積み上げにより基になる方針を決めようとしている段階。
06	施設によっては、健全率の数値が低かったり浸水想定区域にあたりと課題のある施設があります。こうした施設を残すことで検討されているのでしょうか。
07	市内全体を3つの拠点に再編してはどうかという意見もあると聞きました。西脇中学校区自体が残るのかどうかも含めての検討ということか。
08	徒歩で移動することは、運動不足解消となったり、交通ルールを覚えたりできる機会でもある。ただ、安全面ではバス通学であれば、不審者との遭遇等というリスクは減らすことができ安心。
09	個人的には学校選択制がいいと思っていましたが、教員確保という課題もあると知り難しいかと思った。市外の方でも小規模特認校に魅力を感じている方がいる。市外の方でも通えるようになればいいなと思う。
10	西脇市として、子どもを育てやすい環境を作ってほしい。小中一貫教育の具体的な内容を、実際に見てみたいと思います。
11	日野小出身者として、統合により日野小がなくなるのではないかと危惧する。西脇小は保存改修工事が完了している。
12	日野小出身者として、残してほしいという気持ちはあるが、出生数の減少を見ると存続は厳しいと思う。統合も仕方ないと思う。施設の補修や建て替えもあると考えるので、無駄なお金をつかわないように早く決めてほしい。
13	少子化は、このまま続くものと考えている。統廃合を考えていくことは仕方が無い段階にきている。西脇市で生まれ育った者として、西脇市が子育てをしやすい街になればと思う。時代も変わっている。市としての道筋を大胆に示してもらいたい。子どもは順応性がある。どのような形になっても、それはそれでいい。
14	加東市は、思い切った統合により新校舎建設等、思い切ったアピールをされている。西脇市も、地域会議や各種説明会を行うなどプロセスを踏んできちんと取り組んでいるという事をアピールすべきである。
15	地区別説明会の際には、参加者が非常に少なく残念であった。この問題は全体で考えなければならないこと。

【西脇東中学校区】 令和3年11月 5日（金） 場所 コミセン比也野

No	質問・意見
01	使わなくなった校舎を活用することは大切。現在ある校舎を使わず新しい校舎を建てることは財政的負担が大きいのではないかな。
02	西脇市の教育は、他市が進めているような大規模校を作り、人を集めていく方法ではなく、特色ある魅力的な教育を展開して欲しい。
03	比延小が今、学年1学級しかないということを聞いて驚いた。4拠点にするか3拠点にするかを考えなくてはならない。気持ち的には比延地区を残してほしいですが、ゆくゆくのことを考えればどうなのかという気もします。
04	0歳児や新生児の人数を見ると、多くの学校が1学年1桁人数のクラスになることが目に見えている。子どもの人数が少ないと先生の数も少なくなる。そこが非常に心配です。複式学級になり2つの学年が1つの教室になり先生が減ると心配する。
05	議論は深めたいが、100%全員が納得する意見は難しい。折り合いをつけなければいけないと思う。地元の学校を残したいという思いはありますが、メリット・デメリットもあるのでもう一度よく考えたい。
06	学校は、多くの人数が集まる方がいいと思っていた時期もあったが、少人数の穏やかな雰囲気も魅力を感じる。人数が多い方がいいのか、少ない方がいいのかは、分かりません。
07	子どもの人数を見ていると、統合も仕方がないと思っていた。しかし、統合しても1学年1学級でクラス替えが叶わないのであれば、統合する必要がないのではないかな。統合して複数学級になるのであればいいですが。
08	統合してもクラス替えができないなどデメリットが解決できないのであれば、意味がないのではないかな。
09	市外からこの地域に越してきた。前の地域では、小学校にバス通学している友達が何人かいて、自力で乗り降りして通学していた。従って、バス通学というスタイルに違和感はない。比延地区はバスの本数も少なく、ルートも確立されていない。ビジョンをお聞きしたい。
10	加東市の東条学園では、今年の体育大会において小1から小4までは小学校グラウンドで、小5から中3までは中学校グラウンドで開催となった。現在の校舎を使おうとすればこうしたことが起こり、保護者負担が増えるのではないかな。新しく大きな校舎を建てた後、子ども数が減少すれば教室が空く。
11	小規模特認校については、メリット・デメリットの両面があるが、メリットの方が大きい。子どもの心のストレスを解消できる。不登校児の立ち直りもあった。双小に限らず、小規模校が一つぐらいあった方がいいのではと思う。
12	通学バスという選択肢もあるが、双小の場合は低学年の保護者は学校の近くまで親御さんが車で送り、そこから地域の友だちと徒歩で通学している。通学バス以外の選択肢もあるのではと思った。

【西脇南中学校区】 令和3年11月 2日（火） 茜ヶ丘複合施設みらいえ 多目的ホール

No	質 問・意 見
01	地域に学校を残すという視点だけで考えるものではないが、様々な規模の学校が残ることは、多様性という面から意義があるのではないか。
02	加東市は、東条・社・滝野という3地区とも小1から中3までの9年間を小中一貫校と位置づけ、一貫した教育方針を定めている。行政主導型で決定された。西脇市は、地域の声を聞きながら方針の方向性を決めていく方法
03	西脇市も新しい教育のしくみを取り入れ、様々な形態の違いはあっても一貫した教育体制を構築するほうが良いと思う。
04	学校を残したい気持ちもわかりますが、施設のこと、予算のこと、人口が減少していること等を踏まえ、将来の子どもたちに負担を残さないためにしっかり考えないといけないと思う。
05	西脇市が他市町に比べて、魅力が若干落ちている印象がある。各地区の様々な思いはあると思いますが、市全体でいい方向に向けていければと思う。
06	芳田地区の未就学の保護者は、同級生がいるのか、小学校は継続するのか等、心配している。学校選択制は、他地域から来てもらえる面と、他の地域へ出ていける面がある。
07	市の教育方針に、0歳から15歳までの一貫した（継続した）子育て・教育が可能となる流れができればいいと思う。世代により、子どもの教育環境に対する思いは異なっている。未就学児の保護者の意見を取り入れて欲しい。
08	小学生が夏場の猛暑の中を帰宅することが心配。距離だけで区切るのではなく、柔軟に対応できないものかと思う。
09	適正化現状説明会アンケート結果の、適正化の現状を理解している方が46%は高い数字。市全体の周知も高めていく必要がある。少子高齢化が進んでいるが、西脇市が本当にいい街だともっとアピールできるようになれば人口も増えるのでは。
10	本年度ここまで生まれた新生児の数が少ないことに衝撃。子どもを産み育てることに不安を持たれている方が増えているのでは。コスト面で、小さな学校も大きな学校も大きな差が無い。コスト面で考えると、統廃合により経費削減を図ることも考えられる。
11	学校選択制もいいのではないかと思っていたが、学校の先生方・子どもへの風評による影響もあると考えられる。慎重さが必要である。教師の勤務時間が長くなっていると聞く。何が原因となって教員の多忙化が生じているのか、現場の先生方の意見を聞くことが大切
12	実際に教育現場で子どもたちに関わっていただいている先生方の意見を聞きたいです。
13	教育に何を求めるかが大切。勉強も大切だが、それだけではないと私は思っている。地域の人や環境と繋がることも大切 会議では、それぞれの立場からいろいろな意見も出てまとめることは大変。また、出た意見を全て聞くことはできない。行政と市民が寄り添っていこうとする意見が出ないと終わりが見えないと思う。
14	地域住民や保護者の理解を得ながら、推進されているということは大切にして欲しい。
15	芳田小はいい学校だと思いますが、今後児童数がどんどん減少すれば、学校の維持はできないと思う。
16	野村町は、区によって異なっているが、全体としては減少している。地域の関心が高まっていないことは残念
17	公共サービスの持続可能な提供のためには、公共施設を4割削減しなければいけない。その対象に、学校も入ってくるのだと思う。一方の学校が、他方に吸収されるという形を想定しますが、両地区の間に新しい学校をつくらばいいのではないかとと思う。
18	この地域も数年後には大きく子どもの人数が減少することになる。重小も6年先には、200人程度減少する見込みであり、いつまでも児童数が多いわけではない。この地域がどのような形でまとまっていくかは、全市の見ても大きな転換点となる。

【黒田庄中学校区】 令和3年11月12日（金） 黒っこプラザ

No	質 問・意 見
01	中学校区ごとに学校を配置する事務局案で、長期的な持続が可能か心配。逆に、中学校区を超えての再編が可能かどうかも心配 どうすればいいか、悩んでいる。
02	恐ろしいような出生数となってきた。将来、黒中1学年で15人程度のクラスになることが想定できる状況。子どもたちの将来を考えたら、 事務局案よりもう一步進んだ意見を出す必要があると思っている。そうなれば、4ブロック分け（中学校区）でいいのかどうかという点の検討 が必要
03	大きな新校舎を建てて、そこに集約するという方針を市で決めていただきたい。皆さんの意見も大事ですが、平行線。小規模・大規模ともにメ リット・デメリットがあり、どちらの規模がいいという主張も、何年たっても変わらないもの。私としては、市の方針に従いたい。スピード感 をもって決めていただきたい。
04	小1の子どもの保護者。将来、子ども数は減っていくと思うので、黒田庄内で学校を併せることがいいと感じている。安全面の確保について、 お願いしたい。
05	中学校でクラス替えが無いと、高校に進学した時に子どもたちがやっていけるのかという不安をもっておられる保護者の方が多い。少人数も いいが、クラス替えを体験させてやりたい。
06	子どもの安全面が一番心配。通学バスの運用を求めていただきたい。
07	今年半期の新生児数を見て衝撃を受けた。楠小・桜小・芳小・双小・比小全部足しても半期で19名。これだけの学校をまとめると学年2学級 ができるかもしれない。楠小・桜小だけでは学年単学級になる。学校規模のこともあるが、子どもの将来の為に、どういう教育をおこなう学校 にしていくかを話し合える場になればと思う。
08	黒中も、過去には3学級あった。7年前に学年2学級となり、来年は1学級になる見通し。小規模・大規模それぞれにメリットがある。
09	少子化進行という現実から見て、この問題の早期実現をお願いします。保護者は、いつから体制が変わるか気になる。
10	保護者にとっては、自分の子どもがこの適正化の実現と関係するのかが気がかりである。
11	地域と連携して子どもたちを育てるという意味では、地域と学校の繋がりも大事。やはり中学校区として統合し、小中一貫教育に進んでいく ものと思う。桜小の評議員をしています。小規模校ではありますが、地域との連携等、やり方次第で教育効果が得られるのではないかと 思っています。
12	市としての具体的な考え方や方針を出してもらいたい。